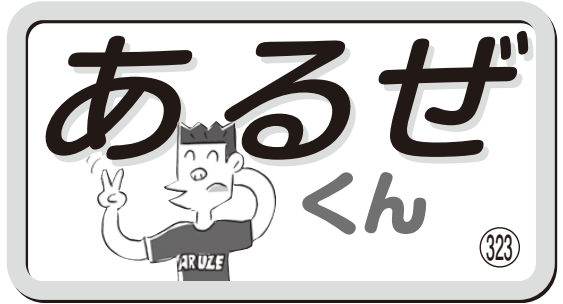




アルゼ株式会社に勤務するあるぜくんは、好奇心旺盛で向上心も人一倍。そしてもっと多くの人にアルゼのことを知ってもらいたいと頑張っています。



自滅した金の亡者

一年間の中で最も良い季節がやって来た。しかし、世界の金融経済は最悪の状況を迎えている。想像を超える規模での世界の株式の急落と、円建て借り入れをファンドが手じまいで買い進めることにより、円高が一気に進んだ。金融マーケットは、株式までもが狼狽売りにされている。

世界の金融ファンドは、金利の低い日本の銀行から資金を借り入れて運用してきた。個人と住宅ローン会社との相対取引債権を証券化し、その証券を世界市場に販売、集めた資金で再びローンを組み、膨れ上がった住宅はついに暴落し、金融危機が起きた。サブプライム問題を引き起こした住宅金融公社大手2社やリーマンブラザーズ証券は倒産し、責任のとれる会社が居なくなった。住宅と不動産の先行き不安を見て経済は悪化し、今回の金融危機で各国の通貨と株が安くなった。先行きの円高恐怖から、これまで拡大したファンドの手じまいで、円での借り入れ返済のた

めに、円を買い求め、円を高騰させた。ファンドは、12月決算において損失の開示を求められ、投資家から返済を求められている。

円高での狼狽はよくわかる。アルゼが海外で販売しているカジノ向け機器。オーストラリアでは、100円が1豪ドルだったものが、約16豪ドルの為替まで下がった。円だけが高くなり、世界の通貨が下がり過ぎている。商品のキャンセルが始まり、輸出価格を約40%安くしなくては、オーストラリア国内の他社メーカーに太刀打ちできない。コスト削減が大きな課題だが、企業努力だけでは難しくなっている。不況と、失業者を迎える危機が起きている。

日本の住宅ローンでも、一般のサラリーマンは持ち家のために30年ローンを組み、始めの10年間は金利を

低めにし、将来は昇格して昇給する予測を見込んでいた。10年後からの金利を高めに設定したことが悪いのではなく、誰もが10年先の経済環境が良くなることを夢みていた。社会がもつと発展し、技術も工夫され、新しい魅力ある時代が来ることを楽しみにしてきた。だが、現実とは……。金融危機に振り回され、堅実に持ち家のローンを払っている普通のサラリーマンが脅かされている。

この金融危機は、ファンドという「金の亡者」が、欲を出して自滅した結果である。冷ややかに見ざるを得ないあるぜくんだった。



イラスト……山本ミノ

パチスロ・パチンコ (一部非対応機種有り) サイトへアクセス!! ▶▶▶

最新機種情報はアルゼ王国

月額情報料 315円(税込)
※別途/バケット通信料がかかります。

©2008 ARUZE MEDIA NET CORP. ©2008 ARUZE CORP.
※QRコードは、株式会社デンソーウェアの登録商標です。

アルゼ株式会社